

新たな地域コミュニティ支援事業にかかる受託者等の評価結果について（令和２年度期末）

1 支援の内容及び効果等（１）

評価項目

「自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）」

- (1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ コロナ禍による地域活動の自粛等により、当初予定していた支援の実施が難しい状況であったが、継続したきめ細やかな支援により、一定の成果が出ていた。

2 支援の内容及び効果等（２）

評価項目

- (1) 自由提案による地域支援の支援状況（実績）及び効果等
- (2-1) スーパーバイザー、アドバイザー及び地域まちづくり支援員の体制にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (2-2) フォロー（バックアップ）体制等にかかる支援状況（実績）及び効果等
- (3) 区のマネジメントに対応した取組にかかる支援状況（実績）及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 区とまちづくりセンター間の情報共有は適切に行われていた。 ・ 年度内に支援員の欠員が生じたが、組織的に適切に対処されていた。 ・ アドバイザー、支援員、専門的知識を持つスーパーバイザーによる支援体制が整っていた。 ・ 区政会議をはじめとした区運営方針に関連する会議傍聴等、区のマネジメントに適切に対応されていた。

3 区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）の状況及び効果等（５つ以内）

評価項目

区の方針・戦略を踏まえた今年度の重点支援策（取組）にかかる支援の状況及び効果等

評価	左記の理由
B	・ 地域活動に関わりの薄い若い世代等に対して、地域活動情報をいかに発信していくかが課題となっている。 ・ コロナ禍において、オンラインでのイベントや会議、HPやSNSを活用した広報活動の必要性がより一層増加するため、より

	きめ細かな支援が必要となる。今後も、組織が持っている専門的なノウハウを生かして、継続した支援を期待する。
--	--

4 取組効果の評価（アウトカムに対する評価）

評価項目

- (1) アンケート調査
- (2) 自律的運営に向けた地域活動協議会の取組（イメージ）
 - (2-1) 「Ⅰ 地域課題への取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-2) 「Ⅱ つながりの拡充」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-3) 「Ⅲ 組織運営」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
 - (2-4) 「Ⅳ 区独自取組」にかかる支援の状況（実績）及び効果等
- (3) その他の効果のあった内容

評価	左記の理由
B	・「まちづくりセンター等の支援を受けた団体が支援に満足している割合」は約 85%となっていた。 ・自律度について、「大抵のことはまちづくりセンターの支援がなくとも取り組みができる状態」にある地域が増加した一方、役員改選に伴う新役員への引継ぎがコロナ禍で難しかった地域もあり、結果として前年より若干下がった地域もあった。今後も引き続き、地活協の意義、役割や運営等について、新役員へも理解が深まるような取り組みを各地域で個別に進められたい。 ・議決機関の適正な運営や広報に未だ十分取り組めていない地域が存在するため、地域実情に応じたきめ細やかな支援を継続されたい。

5 総合評価【全体】

評価	左記の理由
B	・新たな地域活動の担い手や参加者を増やすため、地域活動に関わりの薄い若い世代等に対しては、まずは地域活動に関心をもってもらい取り組みが必要であるため、SNS を活用した広報支援等に引き続き取り組まれたい。 ・コロナ禍による地域活動の自粛等により、当初予定していた支援の実施が難しい状況が続いているが、他区の好事例の情報提供やオンライン会議開催支援等、専門性やスケールメリットを活かしつつ、地域実情に応じたきめ細やかな支援を期待する。

（評価基準）

- S：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を大幅に上回っている。
- A：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を上回っている。
- B：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準に概ね達している。
- C：各区の当該年度の戦略に基づいた支援内容や目標の水準を下回っている。